

水前寺
エリアの

魅力創出に向けた

ワークショップ

第4回

令和6年2月26日

本日の進め方

①これまでの取組の振り返り

ワークショップの目的と取組経過



②取組成果の確認

今年度ワークショップ成果の取りまとめ（案）



③意見交換

テーマ：「これからの取組に向けて」

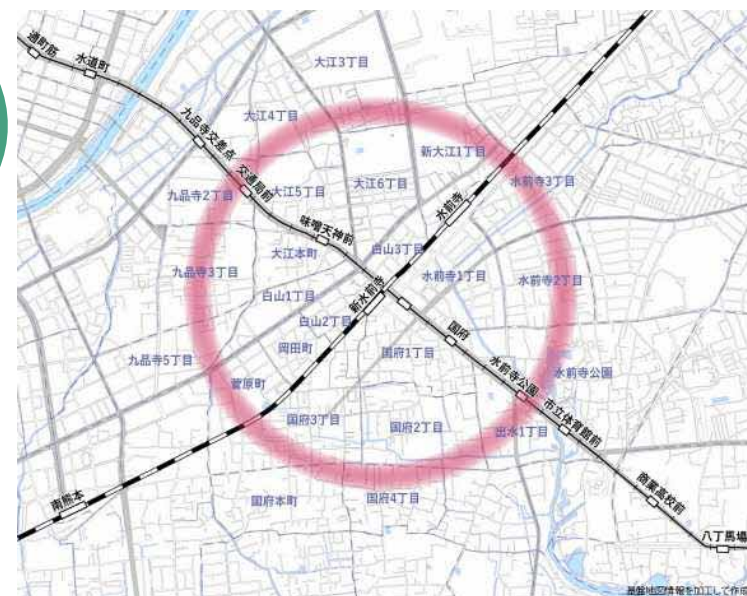
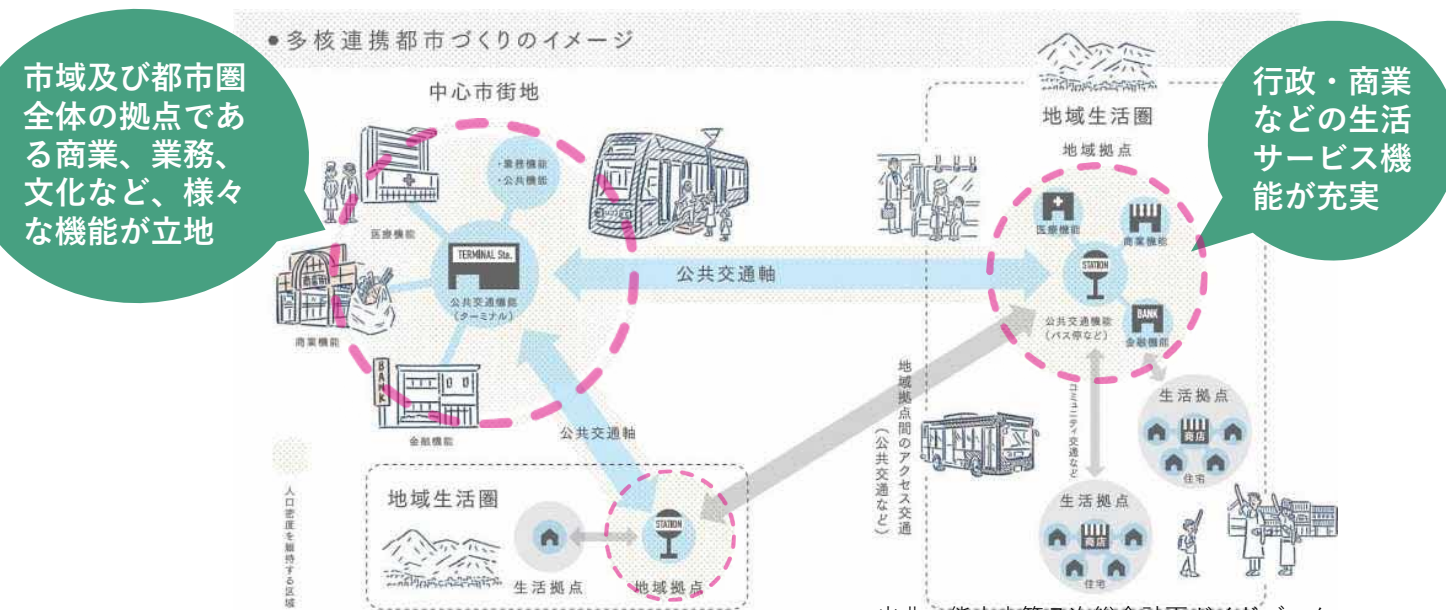
①これまでの取組の振り返り

本ワークショップは、地域拠点づくりの一環として、20～30年後の将来像について、地域や事業者、学生などまちに関わるみなさんと一緒に描いていくことを目的としています。

熊本市の都市づくりの基本方針 『多核連携型の都市空間』

ワークショップの対象地域

地域拠点「水前寺・九品寺地区」内の、
水前寺エリア



出典：熊本市第7次総合計画ガイドブック

①これまでの取組の振り返り

第1回

水前寺エリアの
魅力を見つめ直し、
伸ばしていきたい魅力
や課題感について
考えました



第2回 ※大学生編

魅力や課題を踏まえて、
大学生の目線で
生み出したいシーン
について考えました

第3回

第1～2回の内容を
ヒントにして、
目指したいまちの姿
について考えました



①まちづくりの機運醸成

②地域の将来像(目指す姿)の検討～共有

③目指す姿の実現に向けた取組の実施

④取組の継続・維持

現在の取組段階

多核連携都市の実現

② 取組成果の確認

① アンケート

水前寺エリアの居住者、
在勤・在学者、来街者の方
を対象に、
エリアの魅力や将来イメージ
に関するニーズを把握

② ワークショップ ※～本日分まで

参加者のみなさんと話し合った
・水前寺エリアの魅力やポテン
シャル
・将来の水前寺のまちの姿
・魅力を引き出す取組の方向性
など

取りまとめ

水前寺エリアの将来像イメージ

<令和5年度取組成果>

将来像イメージや取組内容の具体化～実践に向けて、
水前寺エリアに関わるみなさんと一緒に取り組んでいく
ための素材として活用していきます

1 水前寺エリアの特性・魅力・もったいないところ

水前寺エリアの将来像イメージ
 <令和5年度取組成果> ※作成中案

	特性	魅力やポテンシャル	もったいないところ
生活環境	・エリア内に一通りの都市施設が分布しており、生活利便性が高い（医療施設、金融施設、商業施設、教育文化施設が多く立地）	・商業（買い物、飲食）、オフィス、医療、住まい、交通などの生活環境がバランスよく整っており、暮らしやすいことが評価されている	・駅前の賑わいや楽しめる場所が少ない ・気軽に入れる飲食店や滞在しやすい場所が少ない
	・エリア内でも、主にＪＲと市電の線路で区切られる区域毎に、用途地域や道路基盤の整備状況により市街地特性が分かれる（住商混在、住宅地、公共施設・教育機関の多いエリアなど）	・通りや境界毎に雰囲気異なり、個性を引き出しやすい	・国府・出水周辺は道路が狭く、生活に不便な面があり、土地利用もしにくい ・国府付近に都市計画道路の計画はあるが、事業化の目途は立っていない（船場出水線、出水町国府東水前寺線、新土河原出水線）
	・空き家が多い（水前寺・九品寺地区としては15地域拠点中3番目）	・治安が良く、静かで暮らしやすい	・通勤・通学時の帰り道が暗い
移動環境	・公共交通（バス・電車・市電）の利便性が高く、多くの地域の人々が利用する交通結節エリアとなっている	・公共交通の利便性が高いエリアとして認知されており、中心市街地に近いことも評価されている ・通勤・通学、旅行など目的に応じて遠方への移動もしやすい	・新水前寺駅では通勤時の混雑や市電の積み残しがみられる ・自動車交通についても通勤時間帯に交通渋滞がみられる ・コインパーキング等の駐車場が少なく、駐車場のない施設等を利用しにくい
観光歴史文化	・エリアの南東には、水前寺成趣園が位置し、歴史的な資源が多く位置している ・水前寺成趣園の参道には商店街が形成されている	・観光資源が多く、歴史や文化に触れられる機会も多い ・水前寺成趣園～江津湖周辺など自然が多く、風景を楽しめる散歩コースがある ・外からのお客さんを案内したくなる	・地区内に住んでいる人でも、地域について知らないことが多い ・観光スポットがあるにもかかわらず、利用しやすい駐車場が少ない ・水前寺江津湖公園や水前寺参道の商店街が訪れたい場所としてアップデートされるとよい
景観街並み	・古今伝授の間の前を視点場とした眺望範囲には、水前寺成趣園の由緒ある良好な眺望景観の保全を図るための景観形成基準が設定されている（大規模行為届出）	・水前寺成趣園～江津湖周辺では自然や歴史ある風景を楽しめる ・市電通り及び市電の中からは印象的な市街地景観を楽しめる	・駅から水前寺成趣園などの主要な観光ルートが分かりにくい（サインや街並みなど）
コミュニティ	・居住者の人口増減は横ばい傾向で、年齢別には40～50歳代が最も多く、若年層では20～24歳が多い ・鉄道沿線に人口が集積しており、水前寺駅周辺の人口密度が最も高い ・全体的に共同住宅が多くみられる	・学校が多く、地域コミュニティにも活気があり、子どもたちをみんなで見守っている ・地域愛が強く、ボランティア活動が盛ん ・エリア内や周辺に高校や大学が多く、若い世代が利用するエリアとなっている	・若い人が集まる場・コトが少ない ・空き時間を過ごす場所がないため、用事がないと滞在しにくい
ブランド		・「水前寺」の地名や響きに魅力的なイメージがある	

エリアマップ

凡例

地域拠点(水前寺エリア)

施設

- 商業施設
- ✚ 医療施設(病院)
- ✚ 医療施設(診療所)
- 医療施設(歯科)
- 金融施設(銀行)
- 金融施設(郵便局)
- 集会施設(公民館、コセン等)
- 福祉施設(高齢者、障がい者、児童)
- 幼稚園、保育園等
- 子育て支援施設
- 庁舎
- その他行政系施設
- ★ 観光・歴史資源

商業

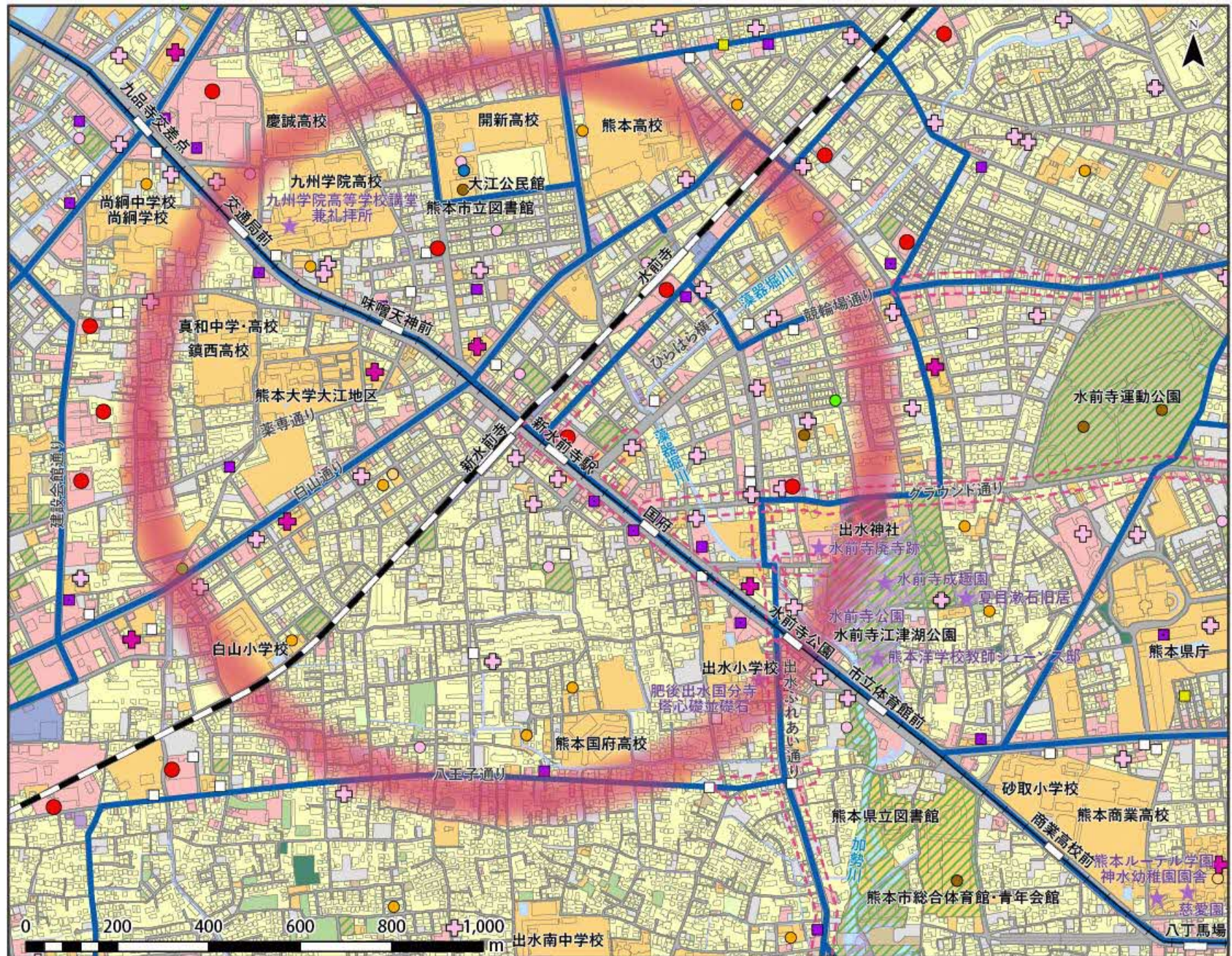
商店会

交通

バス停・バスルート

土地利用

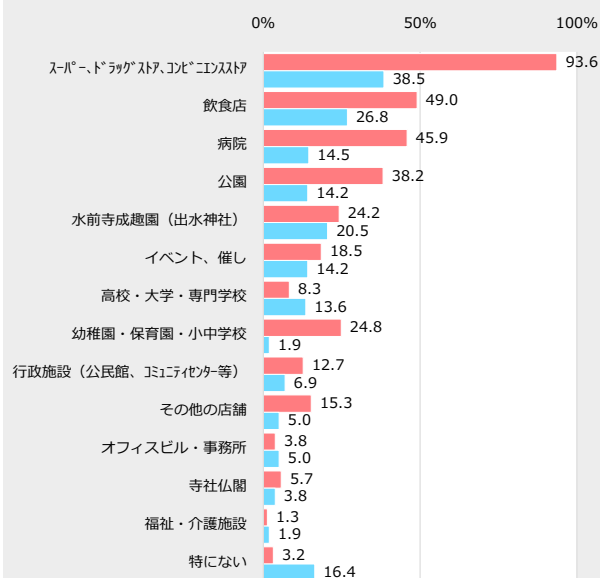
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公共公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共用地
- その他公共施設用地
- 農林漁業施設用地
- その他の空地
- 道路
- 公園



データ出典: [施設] 商業施設、金融施設: 立地適正化計画(R1年度)、医療施設: 熊本市オープンデータ(R3年3月)、集会施設、福祉施設、子育て支援施設: 熊本市施設白書(R4年3月)、幼稚園、保育園等: 熊本県ホームページ(R4年4月)

観光・歴史資源: R3都市計画基礎調査、[交通] 熊本市提供データ、[土地利用] R3都市計画基礎調査

①水前寺エリアで利用する場所（複数回答）



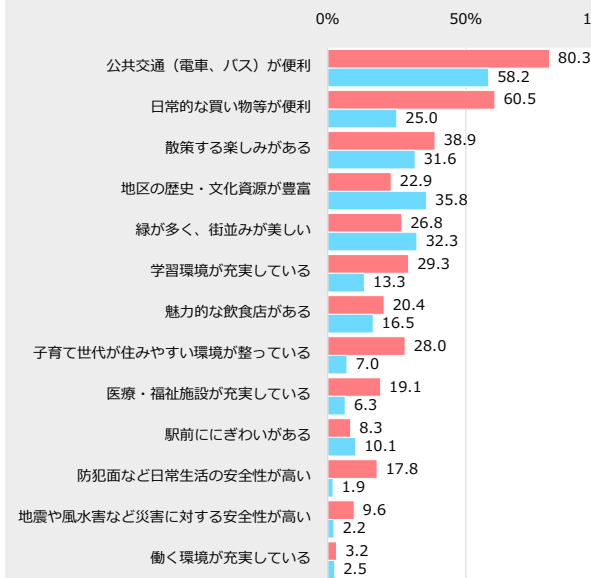
水前寺エリアの居住者

- ①スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア
- ②飲食店
- ③病院

その他の地域の居住者

- ①スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア
- ②飲食店
- ③水前寺成趣園（出水神社）

③水前寺エリアのイメージ（複数回答）



水前寺エリアの居住者

- ①公共交通（電車、バス）が便利
- ②日常的な買い物等が便利
- ③散策する楽しみがある

その他の地域の居住者

- ①公共交通（電車、バス）が便利
- ②地区の歴史・文化資源が豊富
- ③緑が多く、街並みが美しい

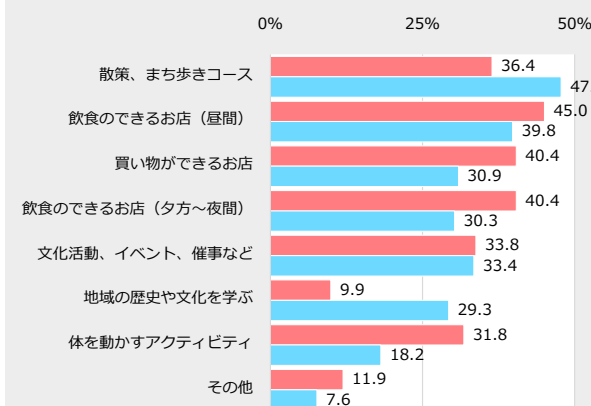
②特にお気に入りの場所（記述式）

水前寺成趣園～江津湖周辺に関する回答が最も多く、次いで飲食店に関する回答、スーパーなど日用品の買い物に関する回答が多く寄せられました。

<主な回答内容>

水前寺成趣園～江津湖周辺	庭園と湧き水があり、歴史と四季を感じられる／自然が豊かで落ち着いた癒やされる場所
飲食店	個別の店舗名に合わせて、サービスやアットホームな雰囲気を評価する声が寄せられました。
スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア	個別の店舗名に合わせて、駐車場の有無、品揃え、価格、営業時間など利用のしやすさが理由として挙げられました。

④水前寺エリアで充実させたいこと（複数回答＋記述式）



水前寺エリアの居住者

- ①飲食のできるお店（昼間）
- ②買い物ができるお店、飲食のできるお店（夕方～夜間）

その他の地域の居住者

- ①散策、まち歩きコース
- ②飲食のできるお店（昼間）
- ③文化活動、イベント、催事など

その他の回答では、世代別の居場所や駐車場、公園、観光案内サイン等の充実、渋滞の緩和、生活安全対策などを求める声がありました。

住む人・働く人・学ぶ人・観光する人 それぞれに

新しい出会いが毎日起こるワクワクするまち

昼も夜も一日中 過ごせる水前寺

まちの中に目的や時間帯に
応じて過ごせる場所がいく
つもあり、一日中滞在でき
るまちに

“水前寺流”まちの 楽しみ方がある

まちで暮らす人、まちを歩
く人が思い思いの過ごし方
を楽しむ豊かなまちに

ワクワクする出会いが 待っている

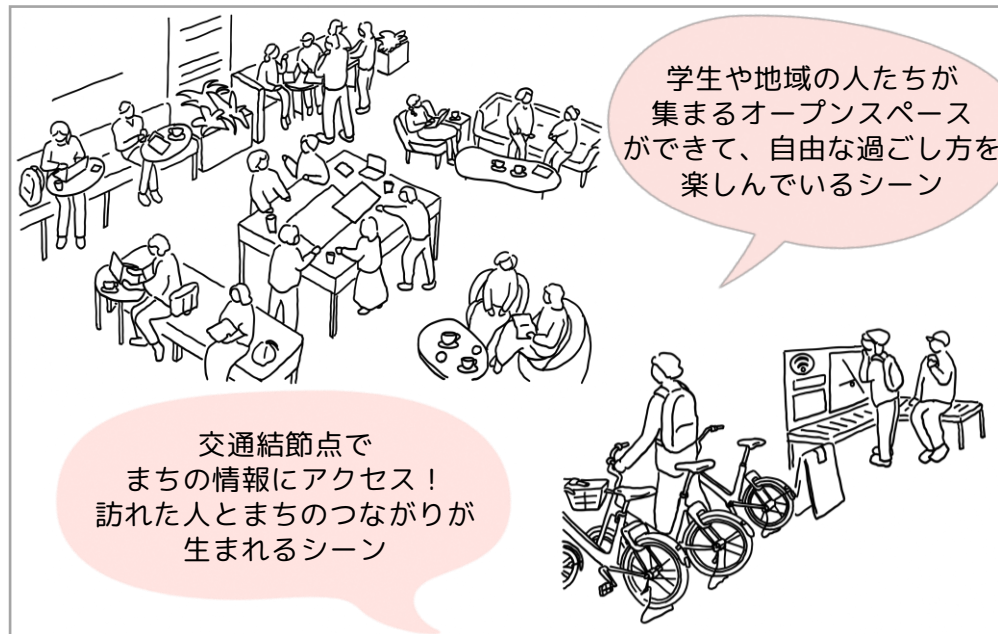
水前寺のまちに降り立てば、
居心地のよい空間やまちを
楽しむための仕掛けが展開
されているまちに

新たな楽しみが つくられる

水前寺の歴史や“らしさ”を
大切にしながら新しいチャ
レンジが起こるアップデー
トしていくまちに

【エリアの顔となる重点スポット】

①新水前寺駅界隈に生み出したいシーン※



②水前寺成趣園界隈に生み出したいシーン※



課題

課題 1

滞在できる居場所や
訪れたい目的を増やす

目的や時間帯に応じて過ごせる居場所
や地域資源を生かした魅力的な場所・
コトの創出

課題 2

水前寺の魅力を伝え、
まちとつながるきっかけを増やす

訪れた人がまちの情報に触れ、散策範
囲が広がるような仕組みづくりによる
回遊性の強化

課題 3

巡る楽しみを演出する
ネットワークをつくる

歩きやすい歩行者ネットワークや移動
を支える交通ネットワーク、魅力的な
景観の街並み等の形成

課題 4

継続性のある取組の企画・体制構築・実施

- ・取組の実現につながる事業創出
- ・エリアの関係人口や観光・散策などのリピーターを増やす



取組の方向性

取組 1

使われていない場所を
活用してまちの魅力を伸ばす

空き店舗・空き家・空き地や、あまり
使われていない公共空間、時間帯に
よって使われていない場所などを活用
して、新しいスポットとコンテンツを
生み出す

一緒に取り組みたい人

取組 2

エリア全体を歩いて巡って
楽しむための情報を発信する

歩いて楽しめる散策コースの設定や各
スポットの魅力を伝えるマップの作製
等によりまちを楽しむ情報を整理し、
駅前やシェアサイクルポート、散策
コース上などにまちとのタッチポイン
トを設け、移動途中などにまちの情報
にスムーズにアクセスできる仕掛けを
施す

一緒に取り組みたい人

取組 3

訪れ、過ごし、巡るための
移動環境を整える

主要施設を結ぶ歩行者動線や公共交通
ネットワークの強化、観光・イベン
ト・買い物などにも利用しやすい駐車
場の確保など、回遊を促す移動環境を
整える

一緒に取り組みたい人

③意見交換

テーマ：「これから必要なアクションに向けて」

水前寺エリアの魅力創出に向けて、目指すまちの姿や取組の方向性について、目線合わせや必要な材料の整理をしていきましょう！

みなさんが知っている
まちの情報を共有しながら
進めていきましょう



☑ 活かしたい素材

（おもしろい場所や人、立ち寄りたい場所、楽しみにしているコトなど）

☑ 活用できそうな場所や活用すると効果的 だと思う場所

☑ 一緒に取り組みたい人、関わってほしい 主体など

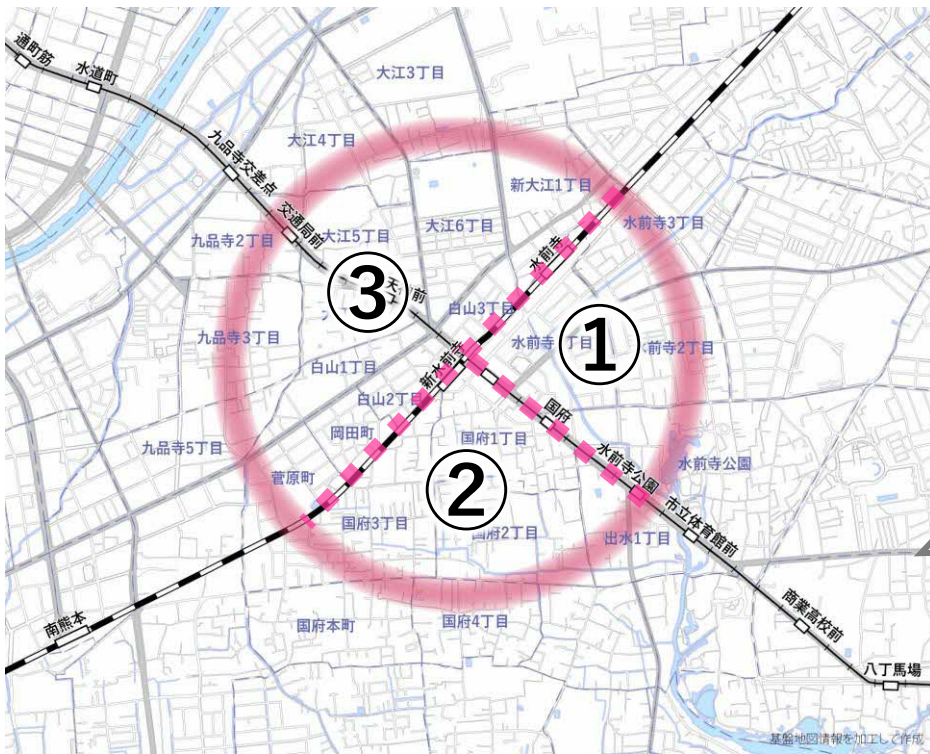
ワーク1：魅力的な場所・コトの再確認

目安時間：15分

みなさんが知っている情報をマップに追加してください

具体的な場所→マップ上にシール（●）を貼る
特徴やコメント→付箋に記入 

3つのブロックに分けて、
各ブロックを5分毎に
ローテーションしていきます



ワーク2：重点的なスポットや通りの確認

目安時間：10分

「生み出したいシーン」をつくっていきたい
具体的なスポットや通りについて確認しましょう

→マップ上にマジックで記入してください
(スポット：○、通り：⇄)



→補足コメントを付箋に記入してください



ワーク3：これから必要なアクションに向けて

目安時間：20分

将来像や取組内容を具体化したり、実践していくために必要なアクションは何でしょうか？

調べてみたいこと 🔍

(例) エリアを楽しめる回遊ルート？

空き店舗の活用などは、比較的家賃の低い場所を探して取組を展開してみては？（前回のご意見より）

実際にやってみたいこと 🚶

(例) いろんな属性の人とまち歩き？

キーパーソンは誰？ 👤

聞いてみたいこと 💬

移住してきたり新しくお店を開いた方など、外から水前寺エリアにやってきた人たちに話を聞いてみたい！（前回のご意見より）

会場全体での共有

これから必要なアクションに向けて

